

# 令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

当シルバー人材センターは基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、就業機会の増大、社会参加の促進や生きがい健康づくり増進に取り組んでまいりました。

令和7年度からは65歳までの雇用確保が完全義務化され、少子高齢化が進む中でますます高齢者の活躍の場が求められています。

当センターは、令和7年度からフリーランス法の施行を踏まえ、国が示した包括的契約へ、個人家庭、公共団体、公共的団体の受託業務について移行しました。これまでの請負受託業務と併せて、会員の皆様が引き続き法による保護を受け、安全・安心に就業できるよう取り組みます。

このような中で、当センターの会員数は令和7年度始めの709人が、年度中の退会者数85人に対し、新規入会者数71人で前年度から14人減少して年度末には695人となり、11年連続の減少となりました。会員の平均年齢も74.6歳と、前年度74.2歳から0.4歳高くなりました。

事業実績につきましては、受注件数は3,721件で前年度から159件の減、就業人員は実人員660人で前年度比2.4%の減、就業延人員は75,312人で、前年度比2.6%の減となりました。

受託契約額では、経済活動の維持や臨時の伐採受託費等があり、総額464,680千円で前年度比1.8%増と、前年度を8,250千円上回りました。

また、派遣事業の契約件数は16件で前年度から7件増え、契約金額は5,258千円と前年度比35%増となっています。

これら増減により令和7年度決算は、当期経常増減額がインボイス制度による消費税納付負担や、諸経費上昇などが影響し、2年連続の赤字決算となりました。

センターでは、公益法人改革への対応や理念を維持しながら、収支均衡による持続可能な運営を続けるため、会員数の確保を最優先課題としつつ、コスト縮減や契約方法の見直し並びに事務費（センター業務委託料）の改定をお願いする事となりました。

引き続き、兵庫県や近畿、全国のシルバー人材センター団体と連携し、安定運営のための要望活動を継続して持続可能な組織づくりに努めつつ、健康で働く意欲を持つ高齢者のニーズに応じた就業機会を確保し、生きがいの充実、社会参加の推進を図ってまいります。

次に、令和7年度に実施いたしました各項目について報告します。

## 1 安全就業の徹底

会員の安全就業や事故ゼロを目指して、新規就業場所については、現場状況の確認及び事故防止対策等を就業予定会員と情報を共有し事故ゼロを目指しましたが、令和7年度は、賠償責任事故5件、傷害事故4件の合計9件事故が発生し、前年度より3件の減となりました。

特に、長期入院となる重篤事故も発生したことを重く受け止め、臨時の安全点検や安全・適正就業委員会を実施しました。また、熱中症対策の酷暑期における就業・行動指針策定や、草刈機の飛び石事故防止のため、刈払機作業基準の改正、高刈りによる事故防止講習会、費用の一部負担基準の見直しを行いました。引き続き会員各自の「安全は全てに優先する」意識の向上と現場確認の徹底に努めてまいります。

## 2 適正就業及び就業機会の推進

法令を順守した適正就業を目指し、会員及び発注者等へ機会あるごとに適正就業の趣旨を説明して協力と理解を求めてまいりました。会員マイページの「スマイルT oスマイル」により、随時就業依頼情報を提供したり、会員各自が毎月の配分金明細書をいつでも何度でも見ることができるよう配信を開始しました。

また、多様化する発注者のニーズに対応するため、会員の確保と派遣事業を推進するなど、今後も適正就業と就業機会の推進に取り組めます。

## 3 講習会、講演会の実施

安全意識啓発、技術習得や知識向上のため、下記の講習会を開催・参加しました。

- |                |        |           |
|----------------|--------|-----------|
| (1) 刈払機安全就業講習会 | 5月     | (参加人数32名) |
| (2) 交通安全講習会    | 9月     | (24名)     |
| (3) スマートフォン講習会 | 12月、1月 | (8名)      |
| (4) 刃物研ぎ講習会    | 11月    | (18名)     |
| (5) 剪定講習会      | 2月     | (21名)     |
| (6) 草刈事故防止講習会  | 3月     | (31名)     |

#### 4 普及啓発活動

安全標語の募集を行い、35点(18名)の提案をしていただきました。審査の結果、6点が入選し、次の作品が令和8～9年度のスローガンとなりました。

スローガン : 《 安全は 声掛け 気配り 再確認 》

また、センターの活動写真パネル展を公民館や駅施設等(7カ所)で巡回展示すると共に、公共機関や店舗など37施設に入会説明会案内を兼ねた会員募集チラシを設置しPRに努めました。

「シルバーだより」、ホームページ、市町広報紙やスマイルT oスマイル等を通じて、会員や仕事を頼みたい方々への事業説明や活動状況についても情報提供をいたしました。

入会説明会を毎月2回定期開催したほか、ハローワークの例月シニア再就職支援講座で説明や勧誘を行いました。(入会説明会参加者 155名、ハローワーク111名)

#### 5 組織の充実

理事会、安全・適正就業委員会、互助部会会議、職群班長・リーダー会議を開催し、円滑な事業運営に努めました。

また、本部、支部、事業所それぞれが連携、情報交換を図り、効率的、効果的な事業運営を推進するため毎月事務連絡会議を開催しました。

#### 6 その他の事業

(1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、広域でのグラウンドゴルフ大会(参加者84名)等を実施し相互の交流に努めました。また、支部・事業所等においても研修旅行を企画し、交流の輪を広げました。

(2) 公共施設等の清掃作業や市民まつりへのボランティア活動等を行い、多数の会員の参加を得ることができました。

(3) たつの市福祉会館の指定管理及び独自事業の「貸衣裳事業」を継続して行いました。